

高橋 紗良さん（平成31年卒）

岩手大学 理工学部 学生

◇現在の所属先や研究内容、進路として選択した理由などを教えてください

理工学部化学生命理工学科生命コースの3年生です。専北在学中、最初は医療系に進みたいと考えていたのですが、1対1で人を診る医療よりも、もっと多くの人の役に立てる仕事として研究者を考え、大学の情報について調べるうちに岩手大学の視覚機能再建という研究内容に興味を持ち進学したいと思いました。



◇大学等での学びを通じてどんな喜び・面白さ・学び甲斐等を感じますか

高校までと違い、自分で情報を集め、興味を持った分野を自分で選択し学べる楽しさを感じています。

◇将来はどんな進路を考えていますか

研究職に就きたいので大学院に進学したいです。イメージとしては、製薬会社で目薬の改良を行う等の研究職です。大学の授業で視覚分野が脳に密接に関わる領域であることを知り、最も重要な研究領域ではないかと感じました。今は、専門的な勉強・研究を行う一方でプログラミング講習を受ける等、幅広い勉強を行うよう、心掛けています。

また、人との交流により知識を得ることも必要だと感じ、留学生が集うサークルに参加し刺激を受けています。例えば、アメリカは色盲者の割合の高い国ですが、アメリカの知人から色盲の人が補正メガネをかけて感動して泣いている動画で見せて貰いました。日本に普通に暮らしている限り、そんな光景を目にすることは無いと思いますが、その光景を見て自分の目指す研究者への道が間違いではなかったことを確認出来た出来事でした。

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

将来、これをやっていなかったから困った、という思いをしなくなかったのが、生徒会運営やオーストラリアへの海外留学等、様々な多くの経験を積んだ3年間でした。先生方のアドバイスが有難く、海外留学も先生の「何かが変わるよ！」の一言で留学にチャレンジしてみたら、自分が凄く変わりました。

留学先では、ホストマザーが「一人で通学」との方針だったので、初日から迷子になり、方々で住民に道を聞きながら登校することになってしまいましたが、なんとか登校することが出来ました。これで何事も怖がらずに挑戦することが達成感に繋がるし、楽しいことだということを実感しました。

一方、大学受験については対応が遅く苦勞しました。5、6名の先生方に志望理由書の添削をして頂いたり、口頭試問の準備に協力して頂いたり、、、。専北の先生方は頑張ろうとする生徒には全部対応して下さいるので感謝しかありません。専北に入って本当に良かったって思いましたね。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

今だからこそ出来る経験というものがあります。家でだらけている時間があつたら、色んな経験を積む時間に変えてほしいです。

例えば看護師になりたいと思ったとしたら、先ず先生に助けを求めて欲しい。先生方は引き出しの数が多いのできっと未来が広がると思います。

また、これは自分の反省でもあるんですが、進学を考えているのであれば、1年生のうちから大学に関する情報をたくさん集め、色んな大学や学部・学科等があり、色んな選択肢があることを知ったうえで間違いのない進路選択をすべきです。

☆取材後記

医療関係の興味深いお話だったので、こちらもつい質問を連発してしまいましたが、それでも嫌な顔をされることもなく、広くて深い知識を披露して下さいました高橋さん。

インタビュー終了後には、その足で英会話学校に向かわれました。

勉強意欲、体験意欲に圧倒されました。素晴らしい研究者になって下さい。(担当：Y)